

令和8年度
消防ポンプ自動車仕様書
(CD-I型)

磐田市消防団

磐 田 市

1 適用

この仕様書は、令和8年度に購入する消防ポンプ自動車CD-I型（以下「CD-I」という。）を製作するのに必要な事項を定めるものとする。

2 規格

- (1) 本CD-Iは、消防専用シャーシに高圧2段バランスタービンポンプまたは高圧1段ポリュートポンプを装備し、河川・消火栓等の水利より強力な放水をなし、一般火災に対し速やかに活動できるものとする。
- (2) 本CD-Iは、この仕様書に基づくほか、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令及び市町村消防設備整備費補助金交付要綱の関連規定に適合し、日本消防検定協会の受託試験に合格したものであること。
- (3) 完成車は、道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。
- (4) 艀装材料は、すべて日本産業規格に基づいて精選された耐久性に富むものであること。
- (5) 受注者は、本CD-Iの製作に先立ち、本仕様書に基づき発注者と製作上の細部に渡り十分な打ち合わせを行うほか、メーカーの公表する標準艀装により艀装すること。
- (6) 製作に先立ち受注者は、契約後速やかに下記書類を2部提出し、磐田市の承認を受けた後、製作を行うものとする。
 - ア 艀装5図面
 - イ キャビン内艀装図
 - ウ 動力伝達装置図
 - エ 電装品関係配管及び配線図
 - オ 製作工程図
 - カ 取付品、積載品のカタログ等の一覧表
 - キ 真空ポンプ図
 - ク その他磐田市が指示するもの
- (7) 受注者は、納入時に次のものを提出するとともに、車両等の取扱注意事項について十分に説明を行うこと。

ア 車両取扱説明書	2部
イ ポンプ取扱説明書	2部
ウ 受託試験合格書（写）	1部
エ 性能検査結果報告書	1部
オ 完成艀装5面図	2部
カ 完成キャビン内艀装図	2部
キ 完成電装品等配管及び配線図	2部
- (8) 無線関係の取り付けは、発注者指定の業者が工事をする事。
- (9) 本車両の取付品及び積載品は、すべて新規製品とする。

3 仕様

- (1) 使用シャーシ
 - ア 国家消防検定に合格した2t級以上のダブルキャビン付き消防専用シャーシとし、

令和7年度に製作される最新型式のものとする。また、発注者に選定理由を説明すること。

イ 令和7年度時点における最新の排出ガス規制適合車両とすること。

ウ 視界拡大大型ミラー及びアンダーミラーを取り付けること。

エ エアコンディショナーを取り付けること。

オ オートマチックトランスミッション（2輪駆動）とすること。

カ メーカーが公表する標準取付品は全て取り付けること。

キ 乗車定員を6人とすること。

ク 車両総重量は5,000kg未満とすること。

(2) 主ポンプ

型式：高圧2段バランスタービンポンプまたは高圧1段ポリュートポンプ

性能：A-2級（動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令に適合するもの）

(3) 主ポンプ動力伝導装置

クラッチハウジングとトランスミッションの間にポンプミッション（シャーシメーカー純正品）を設置する。操作はシフトレバー付近に設けたスイッチにより容易に動力の接・断ができるとともに、接時には視認できるパイロットランプを取り付ける。

また、スイッチ取付位置については、発注者と協議の上決定すること。

(4) 真空ポンプ

四翼偏心ロータリーポンプまたはピストン式とし、伝導は電磁クラッチにより動力を伝導する構造とする。

操作は、左右側板に設けた押しボタン式スイッチにより行い、スロットル操作の必要のないものとする。

また、完全無給油式ポンプとして、真空ポンプ内に水が入っても壊れない構造とする。

(5) 吸水口

消防呼称75mmボールコック付吸水口（ストレーナー付）をポンプ室両側に各1個取り付け、75mm×10m軽量ソフト吸水管を常時接続する構造とする。（連続給水装置付とする。）

(6) 放水口（吐水口）

消防呼称65mmボールコック付放水口（吐水口）をポンプ室両側に各2個取り付ける。

下部に残水排水用のドレンコックを備えるものとする。

(7) 中継吸口

消防呼称65mmボールコック付中継吸口をポンプ室両側に各1個取り付ける。

(8) エゼクター装置

ア 配管は8mm以上のシンフレックスチューブとする。

イ 左右吸水口付近に各1個取り付ける。

(9) 冷却装置

ア ポンプからの吐水により、エンジン冷却補助クーラー及びポンプミッション等を冷却する装置とする。

イ 冷却水の流量は、ポンプ連続運転時十分に放熱できるものとする。

(10) グリス注入装置を設ける。

(11) 不凍液注入装置を設ける。〔艀装5面図に記入すること。〕

(12) 排水設備及び装置

ア ポンプドレンコックは、ポンプレバーに連動し、点検修理が容易であること。

イ 排水が他にかからないようにする。

- ウ 他の排水バルブは、両側サイドステップ上部若しくは下部に取り付ける。
- (13) 上記仕様に記載のない事項であっても、メーカーの公表する標準仕様は満たすこと。

4 艙装

- 1 ボデー側板は、一般構造用圧延鋼材（S S）を使用し、周辺を折り曲げ加工し、雨水等が溜まらない構造とする。
また、各ステップ及び床は縞鋼板を使用し端部は折り曲げ加工し、人の加重及び荷重に耐えられる構造とする。
- (2) ポンプ室側板は密閉型とし、点検手入れが容易に行える構造とする。
また、ポンプ室上部に点検扉を設ける。〔艙装5面図に点線で記入すること。〕
- 2 キャビン内
 - ア 後部隊員席下部は落とし込みボックスとし、隊員席シートは取り外し可能な構造とする。
 - イ キャブ天井前部（オーバーヘッド部分）へ、無線機（更新車両からの移設）、電子サイレンアンプ（大阪サイレン製T S K-D 1 5 2〈警鐘付〉）、を取り付ける。（配置はすべてが効率良く活用でき、収まるよう発注者と十分協議する。）
また、無線機はACC連動とし、無線機の取り付けに関しては、事前に発注者と十分協議する事。
 - ウ 後部隊員席前部に手摺を設け機材を吊り下げることのできるステンレス製フックを10個取り付け、手摺下部床に地図、ライト等が収納できる上部解放式のボックスを設ける。（高さ、仕切等については発注者と協議する。また、角部には、隊員を保護するための措置をとること。）
 - エ 後部隊員席後上部に防火衣等を掛けられるフックを5箇所設ける。
 - オ キャビン内天井にLED電灯を取り付け、破損防止のステンレス製保護枠を設ける。
 - カ モーターサイレンのスイッチを運転席及び助手席から操作できる位置に設ける。
 - キ 左側ピラー上部に無線機用スピーカーを取り付ける。
 - ク マイクジャック取り付けは、キャブ内大型室内灯スイッチ付近に、電子サイレンアンプと連結したマイクジャックを1個取り付ける。
 - ケ 天井内側に内張を張る。また、天井及び屋根部に取り付けた機器の点検等が容易に行うことができる位置に取り外しの容易な内張とすること。
 - コ 電装品等の配線が車内に露出することがないように、天井内、床下、ピラー部を活用し配線すること。また、各配線はコルゲートチューブ等で保護すること。
- (4) キャビン外回り
 - ア キャビンのピラー部分に乗降用のステンレス手摺を強固に取り付ける。
 - イ 散光式警光灯は標識灯、スピーカー、モーターサイレンの組み込まれた大阪サイレン製作所製のNP-ML-VK2M-A2を設置すること。
 - ウ 散光式警光灯から50cm以上離れた部分に無線機用アンテナを取り付ける。
 - エ アンテナ取付に際し、配線等が露出することがないように、天井より立ち上げる。
また、機器取付場所や配線等の穴から雨漏り又は腐食が発生しないよう防錆・防水を施すこと。
 - オ キャビン前面中央部フロントガラス下部に、直径150mm（メッキ）の消防団マークを取り付ける。
 - カ フロントガラス上部に手摺を強固に取付ける。
- (5) 左右両側面

- ア ポンプ上部に可能な限りの大きさの収納ボックスを設ける。
 - a 開閉扉にあっては、間口を最大限（縦49cm以上：横110cm以上）とし、扉はアルミシャッター式とする。（間口サイズについては発注者と協議し決定する。）
 - b ボックス内はスノコ張りとし、底部鉄板に水抜き穴を前、後部の2カ所に開けること。
 - c ボックス内に保護枠付きシャッター連動室内灯を左右側面に2個取り付ける。
 - d ボックス内運転席側に脱落防止の可動式の枠を取り付ける。
 - e ボックス内助手席側にホース10本を収納できるホース枠と、脱落防止の可動式の枠を取り付ける。
 - f 扉開閉時に、開放状態が確認できるLEDパイロットランプをキャビン内に取り付ける。
 - g 収納ボックス外上部に作業用LED灯（大阪サイレン製LIA-200）を設ける。
- イ ステップをキャビン後部ドア下部まで延長し隊員の乗降しやすい構造とし、ステップ上部は化粧板を張る。また、バッテリー側にあるバッテリー引き出しに際し、ステップ及び化粧板が器具を使うことなしに取り外せる構造とする。
- ウ 後輪後方サイドステップ下側にオールゴム製ホースブリッジ（L型）を積載できる構造とする。
- エ 後輪に、スモール連動の照射灯（LED）を設ける。
- オ 無線機用外部スピーカーを取付ける。（取り付け位置は発注者と協議し決定する。）スピーカー前面側板は、無線内容が聴取できるように加工する。（側板埋込式）
- カ 後部上方に広角超高輝度LED警告灯（大阪サイレン LFA-100）を後方向きに取り付け、保護枠を設ける。
- キ ポンプ室上部に上がる可動式ステップを取付ける。（取付位置及び数量については発注者と協議し決定する。）
- (6) 右側面
 - ア 右側後輪付近に車輪止め2個を収納できる構造とする。
 - イ 吸管巻取り部内側にホースリュックをワンタッチで取り外しのできる装置を設ける。（吸管の巻取りの径は左右同様とするため、構造について発注者と事前に協議する事。）
- (7) 左側面
 - ア 吸管巻取り部内側に収納ボックスを設け、内部に発電機が収納でき、固定できる装置を設ける。
 - イ 上部にとび口2本を取り付ける。また、口先を保護する枠を設けた構造とする。
 - ウ 吸管巻取り部上部にスタンドパイプを取付ける装置を設ける。
 - エ バッテリーは、点検が容易に行えるようレール引出式とする。
 - オ ディスクストレナー収納用の枠を取付ける。
- (8) 上部
 - ア 2段ホース枠を設け、消火器を固定できる装置を設ける。（取付位置については発注者と協議し決定する。）
 - イ はしご取付装置を設け、車両後方に容易に引き出すことの出来る構造とする。
- (9) ポンプ室後部
 - ア 後部ボデー内を扉がアルミシャッター式ボックスにし、ボックス内はスノコ張り上下2段分けとし、ボックス内には室内LED灯を付ける。上段は、工具等の資器材及び防火ヘルメット等が収納でき、収納物の飛び出し防止措置を施すこと。下段はコードリール、斧（大）、大ハンマー、掛矢、金てこ（バール）、三脚付LED投光器を固定でき、容易に取り出せる構造とする。

(発注者と十分協議すること。)

イ 後部ステップ下部には、スコップを収納できる装置を設ける。

ウ ボデー後部ステップ上に、ホース延長用機材（可納式ホースカー）を積載できる構造とする。

(10) その他

ア 照明灯（175mm伸縮式 LED）は、ポンプ室前部右側に1個、車体後部左側に1個取り付ける。（取付位置及びスイッチ取付位置については発注者と協議する。）

イ 蹴り込み部分及び取付品部分、資器材の干渉部分の車体にアルミ板・ゴム等で保護をすること。

5 付属品

(1) 吸水管（75mm×10m／金具エルボ付）WS-200M	2本
(2) 吸口ストレーナー	2個
(3) 吸管ストレーナー	2個
(4) 吸管ちりよけ籠	2個
(5) 吸管枕木	2個
(6) 吸管ロープ（10mm×15m）	2本
(7) 消火栓媒介金具（75mmネジ受口×65mm受口） YONE（株） ロープ引き上げ式・消火栓媒介金具（マジックテープ式）	1個
(8) 中継用媒介金具（65mmネジ受口×65mm受口）	2個
異径媒介金具（65mm受口×50mm差口）	1個
異径媒介金具（50mm受口×65mm差口）	1個
差込媒介金具（65mm受口×65mm受口）	1個
差込媒介金具（65mm差口×65mm差口）	1個
(9) 消火栓開閉金具（バルブキー）日之出式82型バール	2個
(10) 消火栓T字金具	左右各1個
(11) 吸管スパナ	2丁
(12) 株YONE ダブルコントロールノズル	2個
(13) 無反動管鎗（NMリニアノズルZ）	2本
(14) 放口媒介金具（65mmネジ受口×65mm差口）	左右各1個
(15) 放口媒介金具エルボ自在型（65mmネジ受口×65mm差口）	左右各1個
(16) とび口	2本
(17) 金てこ（バール）	1本
(18) 剣先スコップ	1本
(19) はしご（アルミ2連式）	1脚
(20) 車輪止め（固定用マジックバンド付）	1対
(21) 消火器（自動車用ABC粉末6kg入）	1本
(22) カラーホース（磐田市消防団消防用ホース仕様とする） （ホース色： ・袴色： とする）	10本
(23) ポンプ工具	1式
(24) ホース背負器（65mm×20m／2本入用）	1基
(25) 二又分岐管（65mm受口×65mm差口2コック式AC製）	1個
(26) ホースカバー ホース背負器用（鳩目及びロープ付または幌）	1枚
〃 ホースカー用	1枚
（チャックにて中のものを用意に取り出せる構造とする。）	1枚
(27) ハンドマイク（サイレン付）	1個

(28) 補修用ラッカー	1 本
(29) 斧 (大)	1 本
(30) 中継ロストレーナー	2 個
(31) ホース延長用資機材 (可納式ホースカー／6 5 mm・2 0 m 1 0 本程度入るもの)	1 台
(32) ホースブリッジ (L型)	2 個
(33) 車載無線機 (車載無線機については、更新車両から移設とする。)	1 式
(34) 発電機 (9 0 0 W×6 0 H z)	1 基
(35) 三脚付 L E D 投光器	1 式
(36) コードリール (防水型 3 0 m)	1 台
(37) タイヤチェーン	1 式
(38) スタンドパイプ Y O N E (株) P S - 6 5 /715mm	1 個
(39) 大ハンマー	1 本
(40) 掛矢	1 本
(41) 車両用バッテリー充電器	1 台
(42) ディスクストレーナー	1 台
(43) マキタ保冷温庫 (C W 0 0 1 G Z) 専用バッテリー、充電器一式 (パワーソースキット X G T 6)	1 式
(44) STREAMLIGHT ウェイポイント (ブラック)	2 個
(44) その他 付属品については同等品を可とする。その際には発注者と協議すること。 また、付属品は納品後即座に使用可能な状態とすること。	

6 取付品

- (1) ポンプ室左右側に圧力計、連成計を取り付ける。
- (2) 運転席にエンジン回転計、油温計及び稼働時間積算計を各 1 個取り付けること。
- (3) 無線機取り付けのため金具をキャブ内天井前部に取り付けること。
(無線機、電子サイレンアンプ等の配置はすべてが効率良く活用でき、収まるよう発注者と十分協議する。)
- (4) 後退警報ブザーは、シャーシ固有のものを 1 個取り付けること。
- (5) 泥除ゴムは、全輪に取り付けること。
- (6) 計器灯は、左右計器盤上に L E D 式を各 1 個取り付けること。
(下部を照射する構造とする。)
- (7) ポンプ室内灯は、1 個取り付けること。
- (8) 団マークは、キャブ前部中央に 1 個取り付けること。
- (9) 旗立てパイプは、キャブ右側センターピラー部分に取り付けること。
- (10) ホース背負器取付装置は、車体右側吸水管巻内に 1 基取り付けること。
ホース背負器本体と車体側板との干渉部分には、アルミ製保護板を張り、固定バンドは、ワンタッチ方式とする。
- (11) 二又分岐管取付装置は、ホースカーに 1 個取り付けること。
- (12) 無反動管鎗取付装置は、ホースカーと左側面へ各 1 個取り付けること。
- (13) 枕木及び車輪止めを左右側板に取り付ける。また、干渉部分には、アルミ製保護板を張ること。
- (14) ビス止め部の突出先に保護策を設けること。
- (15) 付属品については、発注者と協議し車体にできる限り取り付けること。

7 無線機

- (1) 無線機は更新車両からの移設とし、発注者が指定する業者により取り付けを行うこと。なお、無線取り付けに掛かる費用は受注者負担とする。
無線符号は「704」とする。
- (2) 無線取り付け位置からキャブ内スピーカー及び外部スピーカー、アンテナまでの配線について、無線を保護するためコルゲートチューブに通し配線する。
- (3) 取り付け位置等については、発注者・受注者・指定する業者と綿密に打ち合わせを行う。

8 塗装

- (1) 車体は完全な防錆加工を施し、赤色（NAX マテイラック G-II KB型 H-ECO レッド[®]または同等品）アクリルウレタン塗装にて3回以上の塗装仕上げとする。
- (2) ステップ等編板部は、アルミ地色とし床及び車体下回りは黒色とする。
- (3) 記入文字

ア	ドア	文	字	<u>磐田市消防団 中泉方面隊 第4分団</u>
		文字型及び色		丸ゴシック体 白色文字
イ	標識灯	文	字	<u>中泉4</u>
		文字型及び色		丸ゴシック体 黒色文字
ウ	ホースカー天板底板	文	字	<u>中泉4 704</u>
		文字型及び色		丸ゴシック体 白色文字
エ	両側面シャッター	デ	ザ	<u>磐田市消防団キャラクター (別紙)</u>
オ	キャビン前方助手席側文		字	<u>704</u>
		文字型及び色		丸ゴシック体 白色文字

カ 反射材を使用すること。
キ 大きさについては発注者と協議する。
- (4) 金具類は、オールクロームメッキ加工を施すこと。
- (5) ボディには可能な限り、再帰性に富んだ反射材を使用すること。詳細については発注者と協議すること。

9 その他

- (1) 本仕様書に明記のないことは、双方協議の上決定する。
 - (2) 本車両製作後における関係官庁の検査、合格及び本仕様書並びに受注者の公表する標準仕様充足の確認をもって検収とする。
 - (3) 本車両は磐田市へ納入するものとする。
 - (4) 受注者は、故障時の事態が発生した場合、緊急自動車としての運行を十分考慮した修理等の対応ができるものとするため、車両の現状確認を4時間以内、修理対応を12時間以内を実施するものとする。
 - (5) 完成車の保証期間は、検収日より3年とし、保証期間内に無料点検を年2回以上実施する。
 - ア 新車納入後3ヶ月または走行距離が1,000kmのいずれかの時期において、エンジンオイル及びオイルエレメントを交換し、これらの費用は受注者が負担すること。
 - イ 6ヶ月
- ※ なお、保証期間が過ぎても設計・製作・材質等により不都合が生じた場合は、速

やかに改善し、これらに要する経費は受注者が負担すること。

- (6) 車両整備上必要な部品は、納入後20年以上確保（再生部品含む）し、磐田市消防本部から要求があれば迅速に供給できること。
- (7) 完成車両が廃車になるまで、年1回のポンプ性能検査を無償で実施すること。
- (8) 納入時の燃料は、車両及び積載品ともに燃料タンクを満たすこと。
- (9) 完成車両納入日は、令和9年3月31日（水）までとする。

別紙
分団ワッペン

